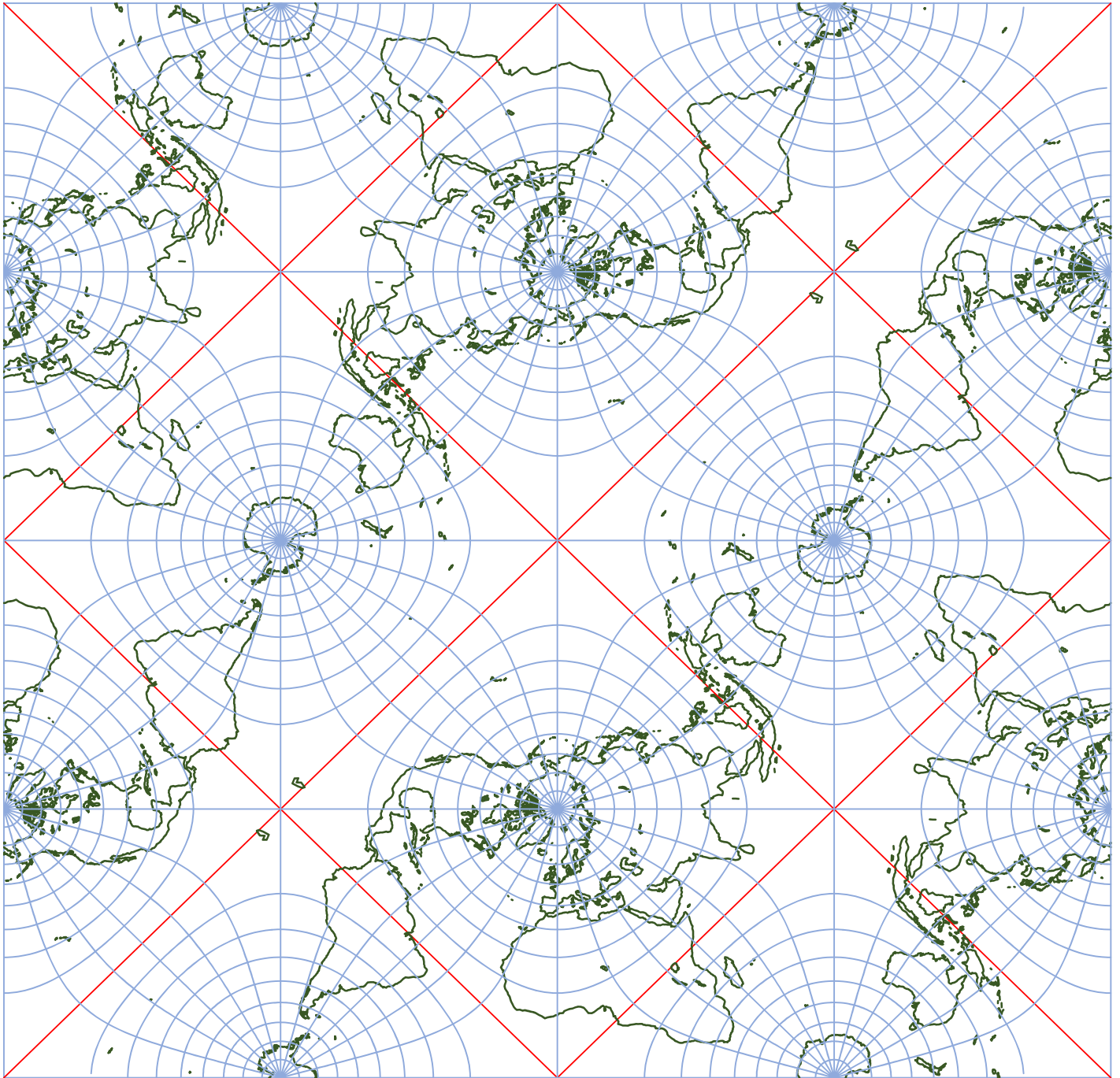


Peirce Quincuncial Projection



【図 6-7-2-5-②-2】 Peirce Quincuncial 図法 (Peirce Quincuncial Projection)

【地図主点(中心)】 東経 180°、緯度 0° 【経度間隔】 15° 【緯度間隔】 10°

【備考】 ・ 投影式の積分は、シンプソンの公式を利用した簡易積分を実施。

・ 平面充填用のタイル(正方形)として用いる。

・ 赤道は、タイル外周に対しひし形(◇)。

・ 南北回帰線、南北極圏、日付変更線は省略した。